



牧が丘

学校教育目標

- ◆自主 自主的に学習し生活する。
- ◆創造 発想を広げ創意工夫する。
- ◆奉仕 広い視野に立って、思いやりの心(愛)で行動する。



心のあいさつ

今年度最初の校長講話が4月19日に行われ、「心のあいさつ」をテーマにお話しいたしました。北海道に古くから住むアイヌの人たちの「イラカラッテ」というあいさつを例に挙げました。この言葉の意味は諸説あるようですが、「あなたの心にそっと触れさせて下さい。」という意味もあるようです。つまり、相手のことを最大限に尊重し「あなたのことを大切にします」というメッセージです。なぜあいさつをするのか。特に朝のあいさつは、「お互い今日も素敵な一日にしましょう。」「お互い尊重し合おうね。」というメッセージなのではないでしょうかと伝えました。それ故、【相手の目を見て】【笑顔で】【ちょっと会釈して】のあいさつを心がけるように話しました。

その翌日。無論これまでも本当によくあいさつをしてくれる中村中の生徒達でしたが、しっかりと目を見て、笑顔であいさつをしてくれる生徒が増えたように感じました。

毎朝、地域の方と立哨指導をしていますが、とても素敵な時間を感じています。中村中学校の朝は、生徒達の笑顔溢れる素敵なあいさつに包まれています。



笑顔であいさつする生徒達

伝統を守る決意と誠実さ ～令和5年度修学旅行～

5月20日から2泊3日の日程で、令和5年度修学旅行で京都・奈良方面に行って参りました。出発の段階から、教師が号令をかけることもなく整然と並び、生徒達が主体となって出発式を始める姿。バスや新幹線の中での場をわきまえた態度。雑巾を寄贈した各寺院でのクリーン修学旅行の伝統を守る決意を感じさせる立派な態度。旅館での楽しい時間の中にもきちんとルールを守った行動。3日間、生徒達と生活を共にして、改めて3年生の誠実さに触れ、心温まる修学旅行となりました。



法隆寺での寄贈：雑巾はお地蔵様を拭くときに使用して下さっているとのことでした。



東大寺での寄贈：代表の生徒が大仏様のお膝元まで登らせていただき、説明をいただきました。



延暦寺での清掃活動：肌寒い中でしたが、心を無にして一生懸命に清掃をしていました。

学校が安全基地であるために

中学生のこの時期は「思春期」と言われ、成長著しい年齢の生徒達が切磋琢磨しながら、時には協調し、時にはぶつかりながらも、心も体も大きく成長する時期です。加えて、それぞれの育った環境も価値観も異なります。当然のように、価値観の違いや意見の食い違いが生まれます。そして、それらの違いを認め合うことができずに、「いじめ」と言われるような事案となって表出していることも現実としてあります。

しかし、たったの3年間ですが、生徒達にとってはかけがえのない貴重な3年間です。一方的に心身が傷つくようなことは、決してあってはなりません。全ての生徒にとって、学校が【安全基地】であるために、「いじめ」と思われる事案に対しては、学校全体として取り組むと共に、加害被害問わず双方の保護者の方々と連携して取り組みます。

全ての生徒が、「この中村中で学べて幸せだった。」「この仲間との時間が永遠であって欲しい。」と思えるような学校であるためにも、保護者の皆様のご協力をお願いいたします。

父親の会 ～地域と共にある学校づくりに向けた第一歩～

父親の会（仮称）の募集案内をしましたところ、5月29日現在で38名の方々が登録して下さいました。保護者の方々の学校教育への関心の高さと、協力体制の盤石さの表れと大変嬉しく思っております。第1回目の活動は、6月24日（土）のスポーツフェスティバルにおいて、運営等のお手伝いをお願いする予定です。この後も随時受け付けておりますので、ご登録下さいますようお願いいたします。

【子育てティータイム】

何よりも大切な我が子。その我が子の子育ては楽しくもあり、苦悩の連続でもあろうかと思えます。立派な中学生に成長してほっとしている反面、反抗期が現れたり、友達との関係に悩んだりと悩みは尽きないものです。私は、栃木県教育委員会で10年にわたって「家庭教育」を担当し、幼稚園や小中学校で保護者の方々を対象にした研修会の講師を務めてきました。当然、たくさんの本を読み、全国各地の講演会に参加し、時には子育て中の保護者の方々とお話をして、「子育て」について学んできました。そこで得た知識や経験を、中村中の保護者の方々にもお伝えし、子育ての一助となればとの願いから、この【子育てティータイム】を学校便りの紙面でお伝えします。ご一読いただき、思春期の子育ての参考になれば幸いです。



創立記念講演を行いました



記念講演は、田上先生と校長との対話形式で行われました。生徒は各教室でリモートでの視聴となりました。生徒は、真剣に話を聞いていました。

4月28日（金）は中村中学校の創立記念日でした。本校は、昭和22年4月28日に中村小学校敷地内に芳賀郡中村立中村中学校として開校し、今年で76周年を迎えました。昭和24年に現在の場所に移転しました。

創立記念講演として、本校の大先輩である、前真岡市教育長の田上富男先生をお招きし、先生が卒業された昭和48年当時の様子をお話してくださいました。特に、本校の伝統となっている「クリーン修学旅行」の第2回目の修学旅行生として、東大寺に巣箱や雑巾を寄付したお話もお聞かせいただきました。

地域の一員として、中村中学校生の「挨拶の素晴らしさ」「自転車を押して横断歩道を渡る姿」「以前より続いている授業態度の良さ」を褒めていただき、誇らしい気持ちになりました。

第1回学校評議員会を行いました



校長から学校評議員の方へ委嘱状を渡しました。

各学級の授業を参観いただきました。

学校経営についてのご意見をいただきました。

5月29日（月）に、第1回学校評議員会を行いました。学校評議員制度は、地域に開かれた学校づくりを一層推進していくため、保護者や地域住民等の代表を「学校評議員」に委嘱し、学校経営や教育活動について多様な意見をいただき、学校支援の輪を拡大していくものです。今年度は4名の方に学校評議員を委嘱しました。

委嘱状の交付後、校長から今年度の学校経営についての説明、各学級での授業参観を行いました。

学校評議員の皆様には、今後1年間を通して学校の様子や学校行事等の参観、学校評価からの考察等を通して、地域社会に開かれた学校づくりのためにお手伝いをいただいています。